

障がいのある人の雇用に取り組む



ザンキン株式会社

長田野工場(福知山市)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】

ステンレス鋼(造管・切断加工)

【障がいのある人の主な仕事】

造管、切断・面取り、検査など

【障がい者雇用の経緯】

全社的に社会貢献としての障害者法定雇用率達成の課題がクローズアップされていた7年前に、工業団地の他社の障がい者雇用の取り組み発表を聞き、特別支援学校の先生を介して見学等をさせていただきました。

それをキッカケに、複数の工場の中で、軽量のステンレスを扱い、作業内容も障がいのある人に向いている長田野工場で実習を実施し、翌年に工場としては初めて障がいのある人を雇用しました。その後2名を雇用し、現在3名が働いています。仕事の内容はステンレス鋼の造管、ステンレスパイプの切断加工・面取り、検査などです。



【包容力の高い職場で】

従業員の中に外国人も8名います。他に高齢者も多く、多様性に対する包容力が高い職場であることが、スムーズな受け入れの最大の要因になっています。

父子家庭でお祖父っ子だった人が、祖父が亡くなり、「お腹が痛い」、「他の人は冷たい」と言って休み、時短(パート)になりました。担当者が交換日記を粘り強く勧め、仕事のことをやり取りするうちに、自分の気持ちを出し、アドバイスも少しずつ受け入れるようになり、フルタイムに戻りました。日記は一年半たった今も続いています。

仕事のマニュアルやサンプルもありますが、マンツーマンで繰り返し教えるのが一番効果があります。

機械のある職場ですので、設置場所や動線が一目で分かる工夫や危険なところにはガードを設置するなど、安全対策を行っています。

【Tさんに聞きました】

3年目です。実習の時、職場が明るく仕事が丁寧だと思いました。学校の先輩もいて、徐々に慣れてきました。仕事はパイプの切断・面取りですが、繰り返し教えてもらい覚えました。

一時体調を崩し、その時から担当者と交換日記を1年半続けています。自分の気持ちを書いて、アドバイスをいただくと参考になります。

車の免許を取り、車通勤をしています。

【Kさんに聞きました】

1年目です。学校の先輩もいて馴染みやすく、周りの人が丁寧に教えてくれ、理解し易かったです。

学生の際は甘えがありました。入社して社会人として色々な仕事にチャレンジしたいと思い、最初のパイプの切断・面取りから、リクエストをして、今は造管作業をしています。早く造管をマスターすると車の免許をとるのが、今の目標です。



令和4年 11月取材